

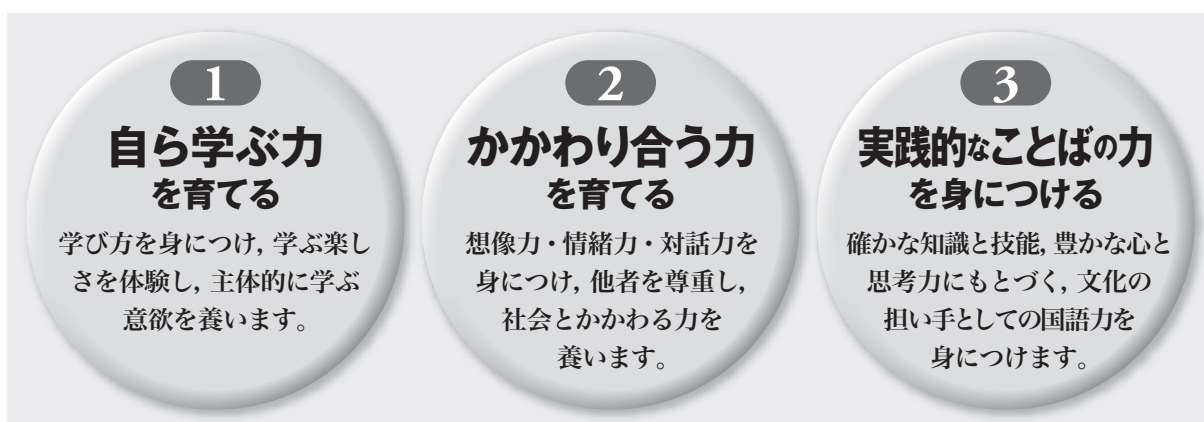
① 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
26-19	中学校	国語	国語	1
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号		教科書名	
15・三省堂	国語・729		現代の国語1	

1 編修の趣旨および留意点

この教科書は、確かな学力と豊かな心の基盤となる「ことばの力」を身につける学習をとおして、「自己の形成・向上に努め、社会と文化の創造的で主体的な担い手として自ら学び続ける資質・能力を育成すること」を教育理念において編修しています。具現化にあたっては、特に次の3点に留意しました。



2 編修の基本方針

教育基本法に掲げられた目標を達成するために、次の6点を編修の基本方針としています。

1 確かな学力を身につける

●学習の系統性 ●基礎・基本の徹底

学校生活に沿った学習活動が組織できる教材・構成であるとともに、学習の系統性を重視し、それぞれの学年・教材で身につける知識・技能（つきたい力）の重点を明確に示しました。すべての領域の教材は、小学校とのつながりをふまえ、基礎・基本に確実に取り組むことのできるものからスタートし、身につけた力を繰り返し活用しつつ、新たな力を段階的に習得していくことができるように系統的に配列しています。

2 自ら学ぶ力を育てる

●学ぶ意欲と実感 ●見通しと振り返り ●学び方を学ぶ

学習者が確かな目的と見通しをもち、学び方を意識しながら学習に取り組み、その過程を振り返って、達成感と以後の学習に生きる成果を自覚する、という学習の流れを重視しました。「やってみようという意欲」「わかる、できるという実感」を自律的・持続的な学習を支える根幹に位置づけています。興味・関心のもてる文章や作品あるいは題材、わかりやすい学習過程、達成感を感じることでできるゴール、以後の学習に活用できる「学び方を学ぶ」機会と場も含めた振り返りを意識して学習を構成しました。

3 かかわり合う力・豊かな心を育てる

◎ 共同的学习 ◎ 感性・想像力・情緒力

他者とかかわり、集団で考え、話し合い、協働する体験を、人格形成のうえでも、社会を創造的・主体的に形成する学び手を育成するうえにおいても不可欠なものとして捉え、個の学習を保障しつつ、交流・協働する活動をとおして、自己の思いや考えを深めたり、集団として問題解決を図ったりしながら、意見や提案、成果物を協働で創り上げる知識と方法、自他の敬愛と協力を重んずる態度を体験的に学ぶ機会を確保しました。日常生活や現実社会の課題をめぐるものから、防災などのような課題を仮想して行うもの、楽しく創造的に行うものまで、他教科の学習や実社会に生きる力にも対応した豊富な教材をそろえています。また、文学教材においては、他者（家族や友人も含む自分以外の人々）との喜びや悲しみの共有、いたわりや思いやりなどの核となる感性や想像力、豊かな情操と道徳心を培うことに資する優れた作品を教材化しています。

4 現代社会の課題に向き合い、解決する実践力を育てる

◎ 対話・合意形成 ◎ 論理的思考力 ◎ 多様なものの見方や考え方

価値観の多様化、グローバル化、情報化などの時代の動きがもたらす現代社会の課題に、社会の構成員として粘り強く取り組む姿勢を養い、積極的に問題解決にあたるために、対話や合意形成などの具体的方法や考え方、そのために欠かせない論理的な思考力・判断力・表現力に培う教材を開発しました。また、古代から現代、日本および世界、言語・文化・自然・科学・社会・芸術・スポーツなど、幅広く多岐にわたる領域と多角的な視点から捉えたテーマや課題を対象とし、多様で豊かなものの見方や考え方をひらく教材を配列しています。

5 ことばと文化の担い手を育てる

◎ 伝統的な言語文化 ◎ 豊かな言語感覚 ◎ 郷土愛

伝統的な言語文化を重視し、アイデンティティの確立と文化の担い手としての知識と自覚を有するために中学校段階で読んでおきたい作品や触れておきたい言語文化や言語芸能を取りあげて、現代におけるそれらの意味を価値づけしながら、知識と感性の双方から理解と親しみを深め、豊かな言語感覚をはぐくむことができるように教材化しました。取り立て教材の他にも、「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」など各領域の学習題材として位置づけ、私たちの生活の中に伝統文化がいかに深く根づいているかを実感し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養うことができるように、全領域をとおして多様な学習場面・多角的な学習活動を設けています。

6 読書活動・情報リテラシーの充実

◎ 読書の習慣化 ◎ 情報活用力


読書活動、情報の収集・選択・発信活動を重視し、図書をはじめとする各種情報に適切にアクセスし、情報を的確に収集・選択・調査・発信する力を身につけることをめざしています。情報リテラシーの必要性や価値を「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材の内容や活動をとおして学習するとともに、著作権や引用をはじめとする知識や具体的な方法・技能に関しては、あらゆる場面で活用できるように各学年の資料編にまとめました。また、幅広い知識や確かなものの見方・考え方を身につけるために日頃から読書に親しみ、習慣化するように、それぞれの学習やテーマに関連して読書へ誘うブックガイドや名作コラムなどの他、多様な読書関連活動を実践する場を各所に設けています。

※代表的な教材と教育基本法第2条各号に掲げられた目標との照応は次項「③」に記しました。

3 対照表

教育基本法第2条各号に示す教育の目標との対照について、主な教材を取りあげ、該当ページを示しました。

図書の構成・内容			特に意を用いた点や特色	該当箇所 (ページ)	
領域	文種など	教材名	*教育基本法第2条各号に関連する学習のねらいを示します。		
本編	読むこと	詩	朝のリレー	<ul style="list-style-type: none"> ●「朝を迎える」という行為を世界各地の若者たちが「朝をリレーする」「交替で地球を守る」と捉える詩人のものの見方に会うことで、生命を尊び、環境の保全に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第四号)。 ●地球規模の視点をもつ機会を与え、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。 	14～15
		物語	空中ブランコ乗りのキキ	<ul style="list-style-type: none"> ●主人公の確かで強い価値観を周囲の登場人物との関係のなかで読み深めていくことをとおして、個人の価値を尊重し、自主および自律の精神を養うことをねらいとしています(第二号)。 	54～61
		小説	少年の日の思い出	<ul style="list-style-type: none"> ●誘惑に負けて他人の大切にしているものを凶らずも損ねてしまう事件をもとに、少年少女期の繊細で傷つきやすい心理や葛藤を巧みな筆致で描きだした小説を読むことによって、豊かな情操と道徳心を培うことをねらいとしています(第一号)。  <p>小説「少年の日の思い出」より</p>	152～161
		随筆	字のない葉書	<ul style="list-style-type: none"> ●疎開で遠く離れる幼い子を思う父の姿を描いた作品を読むことをとおして、家族のきずなの強さやその大切さを感じとり、豊かな情操を培うとともに、生命を尊ぶ態度を養うことをねらいとしています(第一号、第四号)。 ●戦時下における人々の過酷な生活を想像することをとおして、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。 	74～77
		説明	クジラの飲み水	<ul style="list-style-type: none"> ●クジラの生態を探究する文章を読むことをとおして、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第四号)。 	36～40
説明	食感のオノマトペ	<ul style="list-style-type: none"> ●実証的な調査による結果をわかりやすく提示し、結論を論理的に導こうとする筆者の姿勢にふれることをとおして、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うことをねらいとしています(第一号)。 	82～85		

図書の構成・内容			特に意を用いた点や特色	該当箇所 (ページ)	
領域	文種など	教材名	*教育基本法第2条各号に関連する学習のねらいを示します。		
本編	読むこと	随想	この小さな地球の上で	<ul style="list-style-type: none"> ●地球という運命共同体の中で、生き物と人間との温かい触れ合いや助け合いの運動を大きく進めることが人類の果たすべき大いなる仕事だという筆者の主張を読み取り、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画する意識を高める態度を養うことをねらいとしています(第三号)。 ●生命の尊さを地球規模で説いた文章を読むことをとおして、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第四号)。  <p>随想「この小さな地球の上で」より</p>	174～181
	国語の特質に関する事項	解説	月を思う心	<ul style="list-style-type: none"> ●月とともに生き、月を愛で、月を題材にした歌を詠み継いできた伝統と文化について理解を深め、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。 	100～102
		古文	竹取物語	<ul style="list-style-type: none"> ●我が国最古といわれる物語を、現代とのつながりを考えて読むことをとおして、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。 	104～113
書くこと	レポート	調べたことを整理して、わかりやすく	<ul style="list-style-type: none"> ●身近な課題を見つけ、それに関する情報を集めて整理しレポートを書くことで、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うことをねらいとしています(第一号)。 	44～49	
	行事案内リーフレット	目的や相手に応じて、情報を編集する	<ul style="list-style-type: none"> ●学校行事を地域社会に向けて案内するリーフレットを作成して発信し、来場者にインタビューやアンケートをしたりする活動をとおして、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことをねらいとしています(第三号)。 ●学校行事を学校内にとどまらず、広く地域社会に告知し、来場した地域の人々と交流し、一体感をもつことによって、郷土を愛する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。 	91～95	
話すこと・聞くこと	質問	チームの力を引き出す	<ul style="list-style-type: none"> ●課題解決や思考の深化を促す質問の効果を集団による学習で実感することをとおして、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第三号)。 	68～73	
	討論ゲーム	論理で迫るか、感情に訴えるか	<ul style="list-style-type: none"> ●相手を説得するための効果的な意見の伝え方を身につけ、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うことをねらいとしています(第二号)。 	136～141	

図書の構成・内容			特に意を用いた点や特色	該当箇所 (ページ)
領域	文種など	教材名	*教育基本法第2条各号に関連する学習のねらいを示します。	
資料編	◎幅広い知識を身につけ、自主および自立の精神を養うことに資するものとして、さまざまな学習機会を捉えて繰り返し活用すべき実践的知識や方法とともに、家庭学習を含めた自学自習に役立つ教材を「資料編」としてまとめました(第一号、第二号)。			227～324
	読書の広場	小さな図書館	●「幅広い知識と教養」「真理の探求」「豊かな情操と道徳心」「勤労の精神」「生命や自然」「伝統と文化」「国際社会の平和」などを尊重し涵養するための読書活動を推進することを意図して、48冊の図書をテーマ別に紹介しています(第一号、第二号、第三号、第四号、第五号)。	228～233
		情報探しのヒント	●日本十進分類法やインターネットの検索方法などを提示し、さまざまな情報源にアクセスし、幅広い知識と教養を身につけたり、真理を求める態度を養ったりすることをねらいとしています(第一号)。	234～235
		落語—桃太郎	●親しみやすい内容の落語を味わうことで、我が国の伝統と文化を尊重し、そのよさを理解するとともに、文化継承の担い手としての精神を養うことをねらいとしています(第五号)。	240～243
	考える広場	話し合いの方法を選ぶ	●集団におけるコミュニケーションの方法を学ぶことで、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことをねらいとしています(第三号)。	268～269
	参考資料	日本文学名作集	●奈良時代から現代の小説にいたるまで、各時代の代表的な作品やその冒頭を紹介した年表に親しむことをとおして、伝統と文化を尊重する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。	278～281
「読み方を学ぼう」一覧		●読みの方略を学ぶことをとおして、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主および自律の精神を養うことをねらいとしています(第二号)。	321～324 (折り込み)	

4 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

すべての学習者が学習しやすい紙面づくり

- カラーユニバーサルデザイン、ならびに特別支援教育の専門家の指導と校閲のもと、識別しにくい配色は避け、形や記号・番号、説明文などの補助的な手がかりを設けました。また、色の濃淡や罫線などの工夫を凝らすことで、誰もが使いやすい教科書となるように配慮しました。

環境にやさしい教科書

- 用紙については、環境の保護、資源の節約のため、原料や製法に配慮した、環境にやさしい紙を使用しています。
- インキについては、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油インキを使用しています。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
26-19	中学校	国語	国語	1
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号		教科書名	
15・三省堂	国語・729		現代の国語1	

1 編修上特に意を用いた点や特色

1 「つきたい力」の明確化

◎学習の見通しと振り返りの重視

3領域のすべての教材の冒頭に「つきたい力」として学習目標を提示し、教材の最後には学習を振り返る機会を設けています。身についた力を自分で診断・評価し、次に生かすしくみです。

◎段階的・系統的な配列

学習指導要領の指導事項をふまえて、学習の系統化を図り、基礎・基本を段階的に、確実に習得できるようにしています。「読むこと」の教材の「学びの道しるべ」^{▶1}では、丁寧かつ簡潔に学習のプロセスを示しました。

2 「学び方」を学ぶ

◎読みのストラテジー（「読み方を学ぼう」^{▶2}）

「何をどのように読めば力がつくのか」という読みの方略を、図解で示しました。他教材や自主的な読書、表現活動などで繰り返し活用することができる全17の方略を3学年で配置しています。

▶「人物相関図」(p64)、「三角ロジック」(p131)、「情景描写」(p205)など

◎共同的問題解決のための思考と方法

日常生活や現代社会における課題を取りあげ、集団で考えたり問題解決したりする機会と場を充実させました。シミュレーション（モデルを使った実験）などの活動を組み入れるなど、生きて働くことばの力の習得に力を入れています。

▶分析・比較・推論などの思考法 (p44/p130)、質問や対話による意見の構築や合意形成 (p68/p184) など

3 主体的な学びを促す

◎学びの意欲の創出

知る喜びやわかる楽しさ、達成感もてるよう、学習者の知的好奇心や探究心を喚起する文章・題材を選定する、学習のポイントを「見える化」する、対話や話し合いなどの共同的な言語活動の場を適切に設けるなどの工夫をしています。「やってみよう」「できた、わかった」という実感や仲間とともに学ぶ楽しさが体感できます。

◎伝統的な言語文化

日本の伝統的な言語文化として代表的な文章を、写真や絵巻とともに提示するなど、学習者の興味・関心に配慮しています。3年間をとおして基礎的な知識・教養を身につけ、生涯にわたりそれらに親しみ、学び続ける心をはぐくみます。

◎学びやすく、教えやすいよう次の点を大切にしています。

- 小学校と中学校の接続に配慮した導入
- 学習者の発達段階や学校生活・日常生活のリズムに配慮し、自然な流れで年間指導計画ができる教材配列
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域のバランスや関連性を考慮した単元構成

▶1 「学びの道しるべ」の構造 （「読むこと」）

学習目標の再提示

1 内容を整理しよう

情報の整理と確認
個・共同の学び

2 考えを深めよう

解釈や評価
共同の学び

● 学びをひろげよう

多様な言語活動

振り返りの機会

（身についた力の確認）

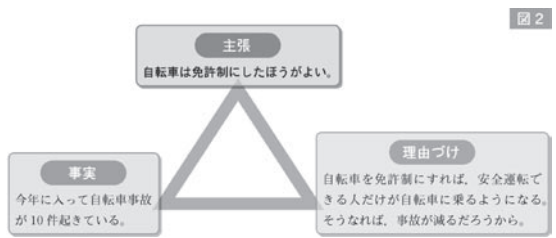
▶2 「読み方を学ぼう」の一覧


1年	2年	3年
① 説明文の基本構造	① 詩の構成	① 隠された意味
② 人物相関図	② 象徴	② 対比
③ 図表と文章	③ 段落の大中小	③ 回想
④ 三角ロジック	④ 物語の転換点	④ 小見出し
⑤ 語り手	⑤ 例示	⑤ 人物設定
⑥ 情景描写	⑥ 視点人物	

それぞれの方略は読むことの教材の中でしっかり身につくように「学びの道しるべ」とも関連づけています。

2 対照表

		図書の構成・内容 [教材名]	学習指導要領の内容	該当箇所 (ページ)	配当 時数
新しい世界へ	詩	朝のリレー (谷川俊太郎)	●読むオ 詩に表れているものの見方や考え方をとらえる [言語活動] 読むア 音読・朗読	14~17	2
	物語	オオカミの友だち (きむらゆういち)	●読むウ 場面の展開や登場人物の描写に注意して読む	18~24	3
	話す・聞く	聞き上手, 話し上手になる ために (スピーチ)	●話す・聞くウ 話す速度や音量, 言葉の調子や間の取り方 [言語活動] 話す・聞くア 日常生活の中の話題について 紹介や, 質問や助言	25~30	4
1 わかりやすく伝える	読み方を 学ぼう①	【説明文の基本構造】 ペンギンの防寒着 (上田一生)	●読むエ 文章の構成や展開についての自分の考えをもつ [言語活動] 読むイ 文章と図表などとの関連	32~35	1
	説明	クジラの飲み水 (大隅清治)	<p>いろいろな動物の体液に含まれる塩分の割合</p> <p>0.0 (%) 1.0 2.0 海水 (2.7~3.0%)</p> <p>*本文中の図表例</p>	36~42	3
	文法のまど 1	ことばの単位・文節の関係	●伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 (以下「伝 国」) イ(エ) 単語の類別	43	1
	書く	調べたことを整理して, わかりやすく (レポート)	●書くイ 集めた材料を分類するなどの整理, 段落の役 割を考えて文章を構成する [言語活動] 書くイ 図表などを用いた説明の文章を書く	44~49	6
	漢字のしくみ 1	活字と手書き文字・画数・筆順	●伝国ウ(ア) 常用漢字を読む	50~51	1
2 かかわりをとらえる	物語	空中ブランコ乗りのキキ (別役実)	●読むウ 場面の展開や登場人物の描写に注意して読む ●読むオ 自分のものの見方や考え方を広くする	54~63	4
	読み方を 学ぼう②	【人物相関図】 鳥の目になって		64	
	ことば発見 1	音声のしくみとはたらき	●伝国イ(ア) 音声の動きや仕組み	65~67	1
	話す・聞く	チームの力を引き出す (質問)	●話す・聞くエ 質問しながら聞き, 自分の考えとの共 通点や相違点を整理する [言語活動] 話す・聞くア 報告や紹介を聞いて質問する	68~73	4
	読書・随筆	字のない葉書 (向田邦子)	●読むオ 文章に表れているものの見方や考え方をとら え, 自分のものの見方や考え方を広くする [言語活動] 読むウ 課題に沿って本を読み, 必要に 応じて引用して紹介する	74~78	1
	読書活動	「読書郵便」を楽しもう	79		
3 情報を読み解く	説明	食感のオノマトペ (早川文代)	●読むイ 事実と意見などを読み分け, 要旨をとらえる [言語活動] 読むイ 文章と図表などとの関連を考えなが ら, 説明の文章を読む	82~87	4
	読み方を 学ぼう③	【図表と文章】 説得力は文字以外でも	<p>*読み方を学ぼう ③の紙面 (一部)</p>	88	

		図書の構成・内容 [教材名]	学習指導要領の内容	該当箇所 (ページ)	配当 時数
3 情報を読み解く	ことば発見 2	話しことばと書きことば	●2年伝国イ(ア) 話し言葉と書き言葉との違いについて理解する ※「内容の取り扱い」配慮事項(1)第2の各学年の内容の指導については、必要に応じて当該学年の前後の学年で取り上げることもできること。	89～90	1
	書く	目的や相手に応じて、 情報を編集する (行事案内リーフレット)	●書くイ 集めた材料を分類するなどして整理、段落の役割を考えて文章を構成する ●書くエ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、分かりやすい文章にする [言語活動] 書くウ 行事等の案内	91～95	6
	漢字のしくみ 2	部首と成り立ち	●伝国ウ(ア) 常用漢字を読む	96～97	1
古典に学ぶ	解説	月を思う心	●伝国ア(ア) 古文を音読して、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れる	100～103	1
	古文	竹取物語	●読むウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意する ●読むエ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつ [言語活動] 読むア 様々な種類の文章を音読したり朗読したりする	104～114	4
	古典情報	古典の仮名遣い	●伝国ア(ア) 文語のきまりを知り、古文を音読して、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れる	115	
	漢文	故事成語——矛盾	●伝国ア(ア) 漢文を音読し、古典特有のリズムを味わう ●読むア 文脈の中における語句の意味を理解する [言語活動] 読むア 様々な種類の文章を音読したり朗読したりする	116～119	2
	古典情報	漢文の読み方	●伝国ア(ア) 訓読の仕方を知り、漢文を音読して、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れる	120～121	
4 論理的に考える	説明	玄関扉 (渡辺武信)	●読むイ 事実と意見などを読み分け、要旨をとらえる ●読むオ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くする	124～130	4
	読み方を学ぼう④	【三角ロジック】 主張・事実・理由づけ	 <p>図2</p> <p>主張 自転車は免許制にしたほうがよい。</p> <p>事実 今年に入って自転車事故が10件起きている。</p> <p>理由づけ 自転車を免許制にすれば、安全運転できる人だけが自転車に乗るようになる。そうすれば、事故が減るだろうから。</p> <p>*本文中の図表例</p>	131～133	
	ことば発見 3	接続する語句・指示する語句	●伝国イ(エ) 指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句に注意する	134～135	1

		図書の構成・内容 [教材名]	学習指導要領の内容	該当箇所 (ページ)	配当 時数	
4	論理的に考える	話す・聞く	論理で迫るか、感情に訴えるか (討論ゲーム)	●話す・聞くイ 全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成する ●話す・聞くウ 言葉の調子や間の取り方、相手や場に応じた言葉遣いに注意して話す ●話す・聞くオ 話合いの方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる [言語活動] 話す・聞くイ 日常生活の中の話題について討論	136～141	4
		書く	表現プラザ1 変わり身の上話	●書くオ 書いた文章を読み合い、題材のとらえ方や材料の用い方について意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりする	142～143	2
5	読みを深め合う	詩	見えないだけ (牟礼慶子)	●読むア 文脈の中における語句の意味を的確にとらえる ●読むエ 表現の特徴について自分の考えをもつ	146～148	2
		ことば発見4	比喩・倒置・反復・対句	●伝国イ(オ) 比喩や反復などの表現の技法	149～151	1
		小説	少年の日の思い出 (ヘルマン＝ヘッセ [訳]高橋健二)	●読むウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意する ●読むエ 文章の構成や展開について、自分の考えをもつ	152～163	5
		読み方を学ぼう⑤	【語り手】 語っているのは誰?		164	
		文法のまど2	単語の類別・品詞	●伝国イ(エ) 単語の類別について理解する	165	1
	書く	多角的な視点で作品を読み解く (鑑賞文)	●書くウ 自分の考えを根拠を明確にして書く ●書くオ 書いた文章を互いに読み合い、題材のとらえ方や材料の用い方、根拠の明確さなどについて意見を述べる [言語活動] 書くア 芸術的な作品について、鑑賞したことを文章に書く	166～171	6	
						
			*教材紙面の一例			
6	視野を広げる	随想	この小さな地球の上で (手塚治虫)	●読むア 文脈の中における語句の意味をとらえる ●読むオ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広げる	174～183	4
		書く	思いや感覚に向き合い、考えを確かなものに (意見文)	●書くア 日常生活の中から課題を決め、自分の考えをまとめる ●書くウ 自分の考え根拠を明確にして書く	184～187	5
		話す・聞く	表現プラザ2 即興劇にチャレンジ	●話す・聞くウ 話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手や場に応じた言葉遣いに注意して話す	188～189	2
		漢字のしくみ3	漢字の音と訓	●伝国イ(ウ) 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深める ●伝国ウ(ア) 常用漢字を読む	190～191	1

		図書の構成・内容 [教材名]	学習指導要領の内容	該当箇所 (ページ)	配当 時数
7 つながりを考える	小説	トロッコ (芥川龍之介)	●読むア 文脈の中における語句の意味を的確にとらえる ●読むウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意する ●読むエ 表現の特徴について、自分の考えをもつ	194～204	5
	読み方を学ぼう⑥	【情景描写】 書かれていない気持ち		205	
	コラム	芥川龍之介の世界		206	
	話す・聞く	一年間の自分とクラスを振り返って (グループ新聞)	●話す・聞くア 話し合うための材料を人との交流を通して集め整理する ●書くエ 文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすい文章にする [言語活動] 話す・聞くイ 日常生活の中の話題について対話や討論 書くイ 図表などを用いた記録の文章	208～212	7
	書く				
	歌のこぼ	風が吹いている		214～215	
	文法のまとめ	●伝国イ(エ) 単語の類別について理解する	216～226	1	
資料編	①読書の広場	読書ガイダンス 小さな図書館	◎幅広い読書への誘いと情報活用のヒントを示し、読書に親しむ態度の育成や情報機器の活用を図っている。 	228～233	10
		読書ガイダンス 情報探しのヒント		234～235	
		読書ガイダンス 情報活用のヒント		236～237	
		見て楽しむ 落語の世界		238～239	
		声に出して読む 落語 桃太郎 (もとしたいづみ)		240～243	
		古典を楽しむ 古事記		244～249	
	②考える広場	読む力を伸ばそう 注文の多い料理店 (宮沢賢治)	◎「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の学習や、他教科の学習、日常生活における言語活動を支える学びの方法を整理し、国語を適切に表現し正確に理解する能力の育成や、伝え合う力を高めることを図っている。 	250～259	
		学ぶ力を高めよう 方法1 さまざまな思考方法を使う		260～261	
		学ぶ力を高めよう 方法2 メモを活用する		262～263	
		学ぶ力を高めよう 方法3 インタビューをする		264～265	
		学ぶ力を高めよう 方法4 アンケートをとる		266～267	
		学ぶ力を高めよう 方法5 話し合いの方法を選ぶ		268～269	
		学ぶ力を高めよう 方法6 図表(表やグラフ)を使う		270	
		学ぶ力を高めよう 方法7 辞典を活用する		271～272	
	③参考資料	数字の書き表し方	◎国語科の学習を効果的に進める上で役立つ知識を整理して示し、国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度の育成を図っている。 	273	
		手紙・はがき・メールの書き方		274～275	
		原稿用紙の使い方		276	
		推敲の仕方と観点		277	
		日本文学名作集		278～281	
		学習用語辞典		282～287	
一年生で学ぶ漢字字典		288～302			
都道府県名の一覧		303			
一年生で学ぶ音訓		304			
小学校六年生で学習した漢字		305			
常用漢字表音訓一覧		306～318			
常用漢字表付表		319			
アルバムディクショナリー		320			
折り込み		「読み方を学ぼう」一覧			
			計	120	

※漢字の取り立て教材「漢字を身につけよう」は、年間を通してバランスよく学習できるよう、各単元に年間9箇所(各1時間)配置した。